

きほく通信

第34号

2013年
2月12日
発行

難病
患者家族会
きほく

ふれあいフェスタに参加

岩出あいあいセンター 2月2日

平成24年度の障害福祉地域啓発事業「ふれあいフェスタ」が岩出市あいあいセンターで開催されました。オープニングは粉河高校軽音楽部による演奏で始まりました。

メインイベントは岩出市で泌尿器科を開業されている安川診療所の安川修院長による講演とギター演奏がありました。安川先生のお話は楽しくて聞きやすく、会場ではおなかを抱えて笑う方が多くあり、安川先生のお人柄が音楽と講演で会場を一つにしていきました。



和歌山県難病団体連絡協議会

和難連の仲間⑫

不遇というか、素敵なこんな主治医との出会いのおかげで私は、「きほく」という患者会を設立できるきっかけになったのかもしれない。全てに感謝です。難病者は障害者とは違うので、行政からの支援も区別されています。

難病患者家族会「きほく」②-3

吉村 由里子

医療関係者の方々も、医療関係者の方々も、いろいろな情報とともに参加して頂いていきます。やはり、医療も必要なことは申すべきではありませんか、「信頼」というものを無くしては、今日も未来もないのではないのでしょうか。さて、私は今、4人の子供の母親です。20歳、18歳、7歳、5歳です。4人の子供たち

随分18年前とは違ってきました。セカンドオピニオン、地域密着型医療、私たち患者会にも、医療関係者の方々「おやすみまたアシタ」の合言葉があります。一日の無事を感じつつ、そして明日もちゃんと目が覚めて、子供たちと出会えますように、明日が来ますように、と、希望を込めた「おまじない」です。「お母さんおやすみ またアシタなあ」何気ないやり取りですが、我が家にはとても大切なおまじない。



またエントランスホールでは例年どおり販売ブースも設けられ、きほくからは神森和子さんがふるさとのリノコやお姉さん手作りのひざ掛け、あったか足カバー、子犬のぬいぐるみなどが販売されました。なお当日の売り上げは20200円でした。

【会長】 神森 和子
紀の川市中三谷
【相談室】 0736(77)5161
【事務局】 〒649-6612 紀の川市北涌371
森田方 ☎0736(75)4413